

全国鯨フォーラム2021石巻

鯨食文化と捕鯨の将来を展望 石巻で14年ぶり2度目の開催

全国鯨フォーラム2021石巻が令和3年11月17日にマルホンまきあーとテラスで開かれました。鯨フォーラムは、捕鯨に縁のある全国34自治体で構成する「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」に加盟する自治体が持ち回りで開催しており、石巻市での開催は平成19年の第1回目から14年ぶり2度目となります。この日は全国から捕鯨関係者及び一般の方260人が集まる中、商業捕鯨の展

望や鯨食文化の継承を目的とした基調講演やパネル討論が行われました。基調講演では、水産庁資源管理部の諸貫秀樹参事官が「我が国商業捕鯨の今後の展望」と題して語り、鯨や地域にゆかりのある5人のパネリストが意見を交わしました。また、11月中に関連イベントとして鯨ちぎり絵や絵画コンクール、鯨料理の試食会、鯨肉の記念頒布会なども行われました。 〔 〕 水産課(内線3513)



▲子どもたちによる鯨ちぎり絵制作の様子



▲絵画コンクールの受賞者には表彰状が授与された



▲鯨ツアーでは捕鯨会社を見学し、鯨について学んだ



▲旧観慶丸商店ではクジラの生態に関する展示などが開かれた

エスディーズ SDGsで未来を変えよう!



Sustainable (サステイナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

今回は、持続可能なまちづくりを目指し「石巻市SDGs未来都市計画」に位置付けた取り組みの中から「災害に強いまちづくりの推進」について紹介します。

〔 〕 SDGs地域戦略推進室(内線4223)

自主防災組織機能強化事業



▲避難所開設訓練のイメージ



▶避難訓練のイメージ

▶自主防災組織とは
自主防災組織とは「防災思想の普及や地域住民の連帯と防災意識を高め、風水害や地震、あるいは火災などによる被害の防止や軽減など、防災活動を通じて明るく住みよい地域づくりに寄与すること」を目的とした、地域独自の自主的な運営組織です。

市では、自主防災組織の活動の支援を目的として、石巻市自主防災組織機能強化補助金を実施しています。この補助金は、防災倉庫設置に係る費用や防災訓練(避難訓練や避難所開設訓練など)に係る費用などを対象に交付するものです。

補助金を利用したい、または自主防災組織の設立に関する相談は、下記まで連絡ください。
自主防災組織について 〔 〕 危機対策課(内線4312・4313)



災害に強いまちづくり

災害発生時にその被害を最小限に食い止めるためには、一人一人が「自分の命は自分で守る、みんなの命は地域で支える」という自助・共助の意識を持ち、日頃から災害に備えることが大切です。

そこで、防災意識を醸成し、地域における防災力の向上を図る取り組みや、災害発生時の一時避難場所の整備など、さまざまな取り組みを行っています。



災害に強いまちづくりを推進することにより、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指しています。

誘導表示板設置事業

災害発生時にいち早く安全な場所への避難が行えるように、避難場所への誘導や東日本大震災での津波の記録を表示する防災サインを設置しています。



津波避難ビル・津波避難タワー



沿岸部の浸水域外への避難が遅れた方の安全を確保するため、津波一時避難場所を整備しています。

整備場所などの詳細はホームページをご覧ください。

